

「100億円」 平瀬川護岸工事の ストーリー

（ 上作延住民の声が国を動かした!!
地域住民・市議・県議・国会議員の見事な連携劇 ）

みなさん、こんにちは。私たちは、上作延、向ヶ丘地域で活動する日本共産党上作延支部です。私たちは、平瀬川の護岸のブロックの崩れや亀裂、道路の沈没などで必要になった護岸耐震補強工事を、早期に進めるよう、住民のみなさんとともにとりにくできました。

私たちは、国会議員、県会議員、市会議員と住民が力を合わせれば、大きな成果を生み出せることを学びました。これまでの上作延住民のとりにくみを、パンフレットにまとめました。ぜひ、ご覧いただき、感想やご意見をお寄せ下さい。



日本共産党
上作延支部



平瀬川の護岸工事で初めて開かれた住民説明会＝2018年12月6日

1. 平瀬川とはどんな川だったのでしょうか

- 水源の宮前区水沢3丁目から、宮前区、高津区を流れる約8キロの多摩川水系の国の1級河川です。
- 昔は土手の川で、住民の暮らしに密着していて、子どもたちが魚を取ったり泳いだりして遊ぶ親しみ深い川でした。

それだけに大雨が降ると時々水害にもなっていたのです。

- 昔の流域は、雑木林で、次第に田や畑になり、その後、急速に都市化がすすんで今の状況になっています。

2. 国の1級河川の大工事なのに、国と県から1円の補助もないとは

1級河川平瀬川は、国土交通大臣の指定を受けた神奈川県が管理権限を持っていますが、河川法第16条の3の規定に基づき協議により、1970年から川崎市が県に変わって市費で平瀬川の整備や維持管理を行ってきました。

平瀬川護岸の老朽化対策として、川崎市が2016年より別所橋から新井台橋までの750メートルの護岸工事

をはじめました。しかし、地盤が深い軟弱地盤であるため、護岸のブロックの崩れや、亀裂、道路の沈没などが発生しました。90メートルの工事に約4年間を要し、費用も市費で約10億円かかりました。今後、全体の工事期間は10年をはるかに超え、費用も100億円を超える大工事になることが予測されています。

上作延町内会のみなさんの努力で、



電柱が傾いて、危険な状態に

2018年12月6日に町内会館で初めての住民説明会が開催され、多くの住民が参加しました。この説明会と担当者からの聞き取りで、平瀬川が国の1級河川でありながら、大工事に国からも県からも1円の補助金も出されていないことが明らかになりました。



県議会本会議で一般質問に立つ石田県議
=2019年9月19日



平瀬川の護岸を調査する、はたの君枝衆議院議員
(当時。正面中央)、石田和子県議(右)、むねた裕之
市議(左)と住民のみなさん=2019年8月21日



国土交通省と交渉する(左から)畑野衆議院議員、石田県議、
むねた市議、上作延住民代表=2019年8月27日

3. はたの君枝衆議院議員へ緊急要請、 国が平瀬川護岸工事費の半額を補助 できると回答

日本共産党上作延支部は、打開のため役立ちたいと、衆議院比例南関東ブロック選出の日本共産党はたの君枝衆議院議員に、国からの補助を引き出せないかと相談しました。はたの君枝衆議院議員は、間をおかず2019年8月21日に現地調査にかけつけ、わずか1週間後の8月27日に国土交通省との交渉の場をつくってくれました。

担当者は、「防災・安全交付金による支援について」の文書を示して、つぎのように回答しました。

「①護岸のつくり替えの場合、耐震化な

ど機能向上を図る工事の補助メニューがある。負担割合は、国が2分の1、あとの2分の1は地方公共団体となっているので、県と市の協議になる。」

「②川崎市から交付金の申請が出た場合、工事を確認し、しっかり市と協議する。」

この交渉の結果、神奈川県が「多摩川水系平瀬川・平瀬川支川整備計画」に平瀬川護岸工事を位置づけて国に申請する必要があり、県の態度を変えてもらうことが決定的に重要になりました。

4. 石田和子県議の質問で、 県の河川整備計画へ大きく前進

2019年4月の神奈川県議選挙で、日本共産党の石田和子さん(川崎市議5期20年)が、高津区で初の県会議員として当選しました。

石田県議は、2019年9月19日の県議会の一般質問で、「多摩川水系平瀬川・平瀬川支川整備計画」に耐震工事を盛り込むことを質問し、予算確保の要望をしました。

県土整備局長が、「川崎市から、整備計画に位置付けてほしいと相談を

受けているので、工事内容をよく伺い、国とも相談しながら検討する」と答弁しました。この答弁が、県の態度を大きく変える決定的な意味を持ちました。

この質問は、上作延という一つの町内会域の住民要望で、県政を動かした画期的な出来事でした。また、この質問で、高津区での日本共産党の県会議席の重要性が浮き彫りになりました。



神奈川県に要望する上作延住民の会の代表。立ち会う石田県議（右端）＝2021年3月5日



市議会本会議で質問する、むねた市議

5. むねた裕之市議が平瀬川問題で繰り返し質問、市が、国と県へ補助金を働きかけ

むねた裕之市議が、国土交通省交渉の結果を伝えて質問したことにより、川崎市がさらに県と国への要望を強化しました。

60人の川崎市会議員のなかで、平瀬川護岸工事問題の住民要求を一貫して市議会で取り上げて質問しているのは、むねた裕之市議だけです。工事地域の住民宅を一軒一軒訪問・対話して、「集中豪雨や地震があれば大規

模災害となるので、工期を早めてほしい」「護岸が石垣で土砂が流出し危険、護岸にびび割れ、電柱が家屋に倒れかかっている」「家屋の土台にびび割れ、配水管の損傷」「駐車場や交通の不便の解消」「営業補償問題」などの要望をお聞きし、市議会で質問し解決に努力してくれていることが大きな力になっています。

6. 「住民の会」が県知事への要望と交渉で画期的成果

2021年3月5日、「平瀬川の護岸工事を早くすすめる上作延住民の会」の代表4人は、黒岩祐治神奈川県知事と上前行男県土整備局長に、

「要望の1 県の『平瀬川・平瀬川支川河川整備計画』に、上作延地域の機能向上を図る護岸工事を位置付けていただきたい」

「要望の2 国庫補助事業化に向けて、県が川崎市と連携して国に要望してください」

という要望書を渡し、県の河川課長と交渉してきました。この交渉は、石田和子県議の紹介と立ち会いのもとで進められました。

この要望書に対する県河川課長の回答要旨は次の通りです。

● 要望書の1にある神奈川県「多摩川水系平瀬川・平瀬川支流河川整備計画」に、上作延の護岸工事を加えることについては、法令に則り進めており、すでに学者との審議も終わり、パブリックコメントを行う予定です。県としては、来年度の早い時期に盛り込んでまいります。

● 要望書の2にある国の補助事業化について、県と市で要望することですが、すでに国からも積極的アドバイスを受けて話し合っているところです。



川崎市に要望する上作延住民会の代表。立ち会う、むねた市議(左端)、石田県議(右端) = 2021年3月26日

7. 「住民の会」が川崎市長への 要望と交渉で大きな成果

県の回答を得て、「上作延住民の会」の代表4人は、2021年3月26日に、川崎市長に「平瀬川護岸の機能向上工事の早期促進をお願いする要望書」を提出し、市の河川課長と突っ込んだ話し合いをおこないました。

申し入れと交渉には、日本共産党の、むねた裕之市議と石田和子県議に立ち会っていただきました。

川崎市の河川課長の回答の要旨

● 国の補助事業にするためには、県の河川整備計画に位置づけられることが大事です。

● 国の補助金を受けて進めたい。市の負担が軽くなるので、国の補助金は必要である。国が50%、残り50%を県と市が持つことになる。県と市の負担割合などを含めて県と協議していく。

8. 川崎市の上作延住民への誠意あふれる 回答とその後の工事の前進

2021年6月27日に住民説明会が高津区役所で行われました。住民から出された要望に、市と建設会社は丁寧に回答しました。最後に、市の河川課長より、3月26日に市長への申し入れ書と突っ込んで話し合った住民要望に対して、全面的に深く検討した誠意あふれる回答が述べられました。

● 地震や集中豪雨などで大災害が起きる心配があるので工期を短縮できないかとのことだが、単年度ごとに市の予算でやってきている。工期を早めることについては、難しい問題で簡単にはいかない。重機を持ち込む道路がいまのところ以外に作れないので、川の中に構台を組んで工事を進めていくが、「前橋」があるので前に進めない。「新井台橋」までの工事のすすめ方は、現在、検討しているところである。

全体として、工期を短縮していくやり方を含めて検討していきたい。

● 工事がストップしたとの指摘があったが、このような空白はもつたない。改善しないといけない。

● 発注を随時契約にして、工期を短縮できないかと指摘があったが、それを含めて検討していきたい。

最大のもものは、1年度の契約を2年間の契約にし、切れ目のない工事にし、工期を短縮していく。

また、「前橋」の建て替え問題では、万全を期してくれることになり、現在は、「前橋」上を、重機を通しながら交通止めの期間も歩行者、自転車は運行可能にしてくれています。



一般質問の傍聴者と懇談する石田県議(正面右)、井坂新哉県議団長(同左)＝2023年2月22日、神奈川県庁

9. ついに、国が半額補助にふみ出す 2021年・22年で計2億円余 「県も補助金を出すべき」石田議員が 一般質問で要求

国から、2021年12月に1億5000万円、2022年12月に1億2700万円の補助金がありました。

石田県議は、今年2月22日の県議会での一般質問で、平瀬川の護岸工事について改めて質問しました。「私は2019年8月、国に要請をしたところ、国からは耐震化など機能向上を図る工事内容であれば補助の可能性があると聞きました。さっそく2019年第3回定例会の一般質問において、国庫補助採択に向けて、平瀬川の耐震化工事を県が策定する河川整備計画に盛り込むことを求め、県はこれを盛り込んだ『多摩川水系平瀬川ブロック河川整備計画』を2021年度に策定しました。これにより、川崎市は、国から事業費の2分の1の補助を受けられるようになり、2021年度と22年度で合計約2億円余の補助金が国から交付されました。川崎市から県に対して『計画的な事業執行を図るために必要な財政措置を講ずること』との要望が出ています」と指摘。平瀬川の耐震補強

工事への財政的支援について、県の対応を質しました。

県土整備局長は、「川崎市では、氾濫を繰り返している五反田川において総事業費約300億円にのぼる水路を建設する工事を進めています。こうしたことから県としては、既存の護岸を補強する平瀬川ではなく、整備効果の高い五反田川の事業を優先して財政的支援をしていくべきと考えています」と答弁しました。

石田県議は、平瀬川の耐震補強工事は、総事業費が100億円規模と言われ、川崎市は、工事期間が10年をはるかに超えると言っていると指摘。「住民のみならずからは、その間、大きな地震や豪雨災害が起きた時に、護岸が壊れば大きな水害が起こるのが心配だ。早く耐震化工事を進めてほしい」との声があがっていると述べ、「そのために、国の補助金の残り2分の1は、地方公共団体となっているのだから、県は、市と協議を行って、負担をぜひ検討していただきたい」と強く要望しました。



住民のみなさんと平瀬川の護岸を視察する(右から)のずえ明美・高津区県政対策委員長、むねた裕之市議

10. この仕事を 石田県議から、のずえ明美さんに なんとしても引き継ぐ

今期で議員を勇退する石田県議からバトンを受け継ぐ、のずえ明美さん(日本共産党高津区県政対策委員長)は、昨年春の引き継ぎ表明以来、住民のみなさんとともに現地を視察し、石田県議とともに奮闘してきました。日本共産党が、高津区で県会議員を失つては、今後、県議会で平瀬川護岸工事を推進することができません。石田和子県議のあとを、のずえ明

美県政対策委員長が引き継ぎ、なんとしても平瀬川護岸工事に25億円規模の県の補助が得られるようにする決意です。
のずえ明美さんは、医療の仕事に長年とりくみ、福祉、子育て、街づくりに強く、行動力抜群です。石田県議の後を継いで、県議会で大きな力を発揮してくれる頼もしい政治家です。

11. 上作延住民にとって宝の教訓が たくさん

①はたの君枝衆議院議員に現地調査に来てもらい、直ちに国土交通省交渉を設定し、国から平瀬川の護岸工事が耐震補強などの施設機能向上事業であれば、国は2分の1を補助し、

局面を大きく変える力になりました。この仕事を、こんどは、のずえ明美県政対策委員長が引き継ぎます。これからが大切です。

残りの半分を県と市が協議すれば良いとの回答を得ました。この回答を力にして、県と市を激励し態度を変えていきました。

③むねた裕之市議は、上作延住民宅を訪問してつかんだ要求で、市議会のために質問し実現のために奮闘し続けてきました。これからも大奮闘します。

②全体を進展させた力ギは、県の態度を前向きに変えることでした。石田和子県議が初めて県議会に議席を得て、繰り返し交渉し、本会議の質問で前向きな回答を引き出したことが

④上作延の住民が上作延町内会、市営上作延第2住宅自治会などの協力を得ながら、国と県と市に要望を出し交渉してきました。国も県も市も前向きに対応してくれました。住民が直接



12. 引き続き、住みよい 上作延・向ヶ丘のためにがんばります

要望し交渉することが大切でした。
⑤ 国会議員、県会議員、市会議員、
上作延住民の4者が粘り強く力を合
わせて運動して、困難を克服し大き

な事業の成功のめどをつけることが
出来ました。このことを、上作延の最
大の宝の教訓にしてこれからも頑張っ
ていきます。

いま、子育てに費用がかかり、あいつ
ぐ物価高や社会保障費の値上げなど
で、生活が大変になっている方も多し
と思います。

また、再び日本を戦争する国にしよ
うと、大軍拡、大増税の危険な動きも
強まっています。

タモリさんが言うように、「新しい戦
前」にはなりませんし、また、加藤
周さんが言ったように、「戦争の準備で

なく平和の準備を」しようではありません
せんか。

憲法9条を守り、平和も暮らしも街
づくりも守り前進させるためにがん
ばろうではありませんか。

みなさん、なんでもご要望がありま
したら、お気軽にお寄せください。

2023年3月

日本共産党 上作延支部 小松邦穂

連絡先 090-2758-17733

平瀬川の耐震化工事の促進には、 県会・のずえ明美、市会・むねた裕之の連携が、 どうしても必要です



市会・高津区
党川崎市議団長
むねた 裕之



県会・高津区
党高津区県政対策委員長
のずえ 明美

